

# ひかりのこ

11月園便り

認定こども園  
聖ミエル幼稚園  
2020年10月16日

## 月主題：感じる

先日は、多くの保護者の皆様が2学期前半の行事に対するアンケートを提出してくださいました。ありがとうございました。

アンケートではミニミニ運動会と、親子遠足に対してお聞きいたしました。

運動会に対しては、短時間ながらも少しでもお子さんを見ることができて良かった、というご意見が多数でした。また、親子遠足に対しても、親子で参加でき、楽しい時間が過ごせた、というご意見が多かったです。

9月のミニミニ運動会は、小学校の校庭を使わずに、幼稚園の園庭で、学年ごとに行いました。保護者の皆様も、立見でご協力をいただきました。コロナウイルス感染の恐ろしさはありますが、子どもたちの成長のために、この行事を欠かすことはできない、と私たちは考えました。その思いの通り、子どもたちは運動会を楽しみ、一回り成長した姿を私たちに見せてくれました。入園当初、並ぶことも、お話を聞くこともできなかった年少さんが、一心に担当の西田先生のお話を聞き、お遊戯も、玉入れも、かけっこも立派に行うことができました。年中さんも、一つ上のお兄さん、お姉さんの自覚が芽生え、とても素敵な姿を見せてくれました。そして年長さんは、開会式の宣誓や応援団、リレー、よさこいで、感動的な姿を見せてくれました。たった3年間でこんなにも成長する子どもたちの姿に、心が震えました。

親子遠足は、バスを借りずに、モエレ沼公園へ現地集合の形をとりました。少しでも集まりやすいように、集合時間に余裕を持たせ、密を避けたゆったりした場所を考えました。公共交通機関を使われたご家庭にはご不便をおかけしましたが、ご協力いただき、ありがとうございました。土曜日でしたが、広々とした芝生で、クラス対抗のゲームをしたり、絵本の読み聞かせをしたりして、秋の一日を楽しみました。

今年度は、コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、皆様

に様々なご不便をおかけしています。それでも、園の活動に歩調を合わせてくださる保護者の皆様には本当に感謝しております。

これから行われる生活発表会に向け、幼稚園では、かわいらしい元気な歌声が響いております。ますます子どもたちは成長していくことでしょう。保護者の皆様も、子どもたちも、私たち保育者も、皆で体調を整え、当日を迎えることができますように、お祈りしています。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「よろず相談所」

その昔、市内で新しく教会を開設した牧師が、地域の人達のために、「よろず相談所」という看板をかかげました。もちろん、キリスト教の信徒にするなどという下心ではなく、純粹に人のお役に立ちたいとの思いからでした。その頃は今と違いSNSなどはないので、何かを相談する時は直接会うか、電話を使うしか手段がないのです。看板を見て、恐るおそる人が訪ねてきて悩み事を打ち明けてくるようになりました。内容は、牧師の手に余る困難なものもありますが、それでも自分の話を聞いてくれるというだけで、多くの人が希望を持ち、明るい表情に戻って行くのです。ミカエル教会も、看板は掲げていませんが、初対面の方が相談に来られることがあります。私はひたすら話しを聞くだけですが、それだけでも安心して帰られる方が多いのです。

コロナの脅威はまだまだ続きます。著名な芸能人の自死も、静かに、深く影響を及ぼしていると聞きます。人は、先週末までは元気でも、ちょっとしたきっかけで抑鬱状態になることもあります。そんな時、私たちに必要なことは、相談する勇気であり、「助けて」と言える誰かが近くにいることです。ご縁があってこの幼稚園に来てくださった皆さんです。小さな悩みでも、大きなことでも、必要があればいつでも声をおかけください。

チャプレン 司祭 下澤 昌